

# 特色ある“学校づくり” を目指して!!

新年度も2カ月が経ち町内の各小中学校では、それぞれ特色のある取り組みがされています。児童生徒が生き生きと学習に励む姿や総合学習の取り組みなど、数回に分けて全学校を紹介します。

## ふれあい かかわりあい

当別町教育委員会  
☎23-2689

### ひとみ輝く金曜日

中小屋小学校



金曜の朝は、子供たちがとても楽しい時間です。『絵と文字』を通して『豊かな心』を育てたいという願いのもと始まった“読み聞かせ”。昨年は、4月から雪が降るまで、堀江三千代さん（樺戸町）が“夢”と“楽しさ”がいっぱい詰まった本をもって読みに来てくれました。冬期間は、地域のお母さんと先生が読み手となり、1年間に読んだ本が34冊。1冊1冊の本が、子供たちに想像の世界を広げてくれました。

今年も始まった堀江さんの“読み聞かせ”に子供たちは耳も目も心も引きつけられ、絵本の世界に引き込まれます。

### 基礎基本の定着を図る取り組み

当別小学校



本校では複数の教師が協力し合い、一人ひとりの子供に応じた指導を柔軟に進め、基礎的基本的な内容を確実に身に付けさせるために、TT（チームティーチング）の授業を行っています。この授業は一人の教師が学習を進め、ほかの教師が補助しながら進めることが多いのですが、やり方はいろいろと工夫することが可能です。学習のねらいが達成するように前もって打ち合わせをすることが大切ですが、打ち合わせの時間を十分に確保しづらいことが悩みの一つです。

子供たちには「すぐ近くで教えてもらえる。詳しく説明してくれる」と好評で、「わかって良かった。楽しくできた」といった感想が増えるように努力しています。



これからは、学級を少人数に分けて行う「少人数指導」や、個々の学習の進み具合に合わせてグループを作って行う「習熟度別学習」についても取り入れていきたいと考えています。

### 食事の大切さを勉強

東惠小学校



本校では、ジャンボカボチャを始め、たくさんの野菜を栽培して給食の時にみんなで食べています。また、野菜づくりを

通して「食」の学習をします。

道徳の時間では、5月11日に給食センターの髭右近栄養士に、表やイラストをたくさん使い食事や栄養バランスの大切さなどを分かりやすく教えてもらいました。

食品のはたらきや調理の工夫、マナーに気をつけよく噛んで食べることの大切さを学び、食事を大切にする気持ちが育っています。

### 私たちの手で美しいまちに!

～西当中クリーン作戦～

5月18日

西当別中学校



全校生徒が「太美のまちを美しく」を合言葉に、2時間かけて、ごみ袋10袋以上にもなるごみを拾い集めました。冬の間捨てられたごみは、た



ばこの吸殻や空き缶、コンビニ弁当の容器なども見られました。また、プランターに花を植え、校庭内に設置する作業も行いました。

活動後生徒たちからは、「ごみを拾ってまちをきれいにできてうれしいけど、思ったよりたくさんごみがあって、びっくりした。これからは、地域の一員として、ごみのない美しいまちにしていきたい」という声が聞かれました。



# ご存知ですか「総合型地域スポーツクラブ」

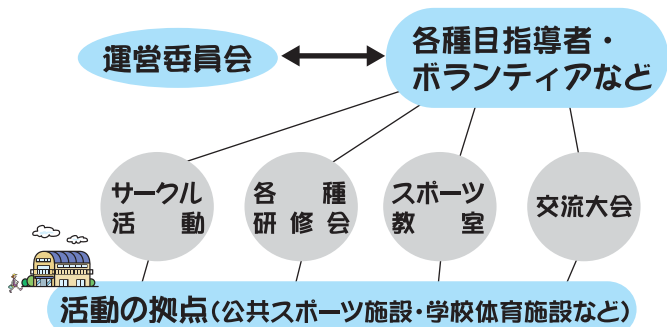
## ◎総合型地域スポーツクラブとは？

地域に住んでいる方が年齢、性別に関係なく、自分のやりたい種目のスポーツを個々のレベルに合わせて自由に楽しむ事を理想とし、住民の主体的運営によるスポーツクラブです。活動するメリットとして

- ・各年代において自分に合ったスポーツが楽しめ、地域全体の健康増進につながる。
- ・子供からお年寄りまで、地域の交流拠点となる。
- ・青少年の健全育成。

などが考えられます。

### 総合型地域スポーツクラブ



## ◎総合型地域スポーツクラブ作りのためには

クラブ運営委員会や事務局などの組織をつくり、クラブに参加する一人ひとりが役割分担など、協力して運営していく必要があります。

### ❖活動拠点の確保

スポーツ活動を行う施設や会員が交流できるクラブハウスのような施設が必要となります。

### ❖人材の活用

競技団体の指導者や体育指導委員はもちろん、学校関係者や町内会の方々と連携し、指導者・ボランティアなどの役割分担をしてクラブを運営していきます。

### ❖財源の確保

クラブを安定して運営していくためには、収入を確保することが不可欠です。会員による会費収入や各種スポーツイベント、教室の事業収入のほか企業との連携による協賛金、また、将来的には行政からの受託事業収入なども期待できます。

ご質問などは、教育委員会スポーツ担当(「総合体育館」・内☎22-3833)までお問い合わせください。

## “食”シリーズ 楽しい学校給食



新入生も学校に慣れ5月からすべての小学校1年生が学校給食を食べています。

給食の内容は、米飯3回、パン1回、麺類1回の週5日、米は当別産100%、パンは道内の小麦粉を50%ブレンドしたものを使っています。

6月から2月位まで、地元のきゅうり、ミニトマト、じゃが芋、かぼちゃなども登場します。

最近、「地産地消」や「日本食の見直し」などが

言われていますが、給食も例外ではありません。その土地で取れた物は体に良く、日本型食生活は生活習慣病の予防に効果的です。

給食センターでは季節の物や地元で取れる物、安全な物を使うよう心掛け愛情込めて作っています。

### 町教委関係の委員紹介

## 当別町社会教育委員

社会教育委員は教育委員会が行う社会教育の振興について、調査・研究・提言などを行います。

町の社会教育委員は条例により定数10名、任期2年と定めています。現在、次の方が社会教育委員として活動しています。

職名	氏名	構成
委員長	岩部 明	学識経験者
副委員長	高橋千枝子	
委員	浅見 千秋	学校教育関係者
	荒川 顕	
	村上スミ子	
	高比良 博	社会教育関係者
	山田 豊	
委員	見上喜久雄	学識経験者
	早川 忠重	
	堀江三千代	

## 公民館図書室が移動しました。



図書室を

明るく使いやすい環境にするため公民館内通路南側(旧中会議室)に移動しました。

是非この機会に図書室に足を運んでみませんか。